ありがとうを化学する
新中村化学工業株式会社
CSR報告書2015

SHIN-NAKAMURA CHEMICAL CO., LTD.

CSR REPORT 2015

VOL.5

For EMPLOYEE

For ENVIRONMENT

For CUSTOMER

UVインキを使用しています

TOP MESSAGE

[社長メッセージ]

― 2015年度を振り返って ―

イノベーション

V80中期経営5か年計画の2年目を迎えております。
長期的発展企業を目指すために、引き続き開発力の底上げを行い、時代の要請に応答できる材料づくりを実現していきます。
前期より『直化(ダイレクトデザイン)』というキーワードを掲げ、設計開発プロセスの改善を行っております。弊社研究開発者と顧客開発者のFACE TO FACEによる対話機会をより多く創り、まず設計開発者同士の信頼関係を構築し、開発プロジェクトの方向性、課題の共有理解を深めていきます。実感体験を通し、プロジェクトへの思いが腹落ちに変わり、『個人の自主性』が根付いた設計開発活動の推進を目指します。その『個人の自主性』が、設計レベル(提案型化)、開発スピードを大きく高め、需要にミートした製品づくりの実現につなげていきます。
また、開発プロジェクトを通して生まれた『個人の自主性』が、人を育て、組織の自立へつなげていく役目も担っております。

グローバル

中期経営計画の戦略につきましては、顧客開拓と製品開発を両輪にし、他社との差別化を進め、弊社の最適なポジションを世界視野で築くことを最高目標に掲げたグループ経営を推進させております。
グローバル目標の第一歩であります中国現地事業化を早期に成功させ、欧米、ASEAN、インドエリアのマーケットへシェアの拡大を図り、今まで培ってきたコア技術の研鑽、新技術との融合、生産設備の最適化(投資&アウトソース)を行い、経営資源を社会資源に変えていける力を伸ばしていきます。

生産性向上

社内改善活動につきましては、長年継続しております『QC活動』を進化させていきます。経験知識を生かし、チームコミュニケーションによる自主改善の成果指標を弊社管理会計システム(コミーバ)と連動させて、売上最大、経費最少、時間最適を図ります。

安全性&BCP

Greeting(挨拶) Order(整理整頓) Cleaning(掃除)、工場ではこのGOC活動を「仕事の基本、業務そのもの」と位置づけ、全員参加で推進しています。
安全についてはゼロ災害を成果指標とし、教育の充実を行い、安全意識を醸成させて、より安全な職場環境をつくっていきます。
また、東南海・南海地震への対応としてBCPの必要性が求められる中、『BCM基本計画書』を作成し、計画に基づいた模擬訓練や考えられる課題の対応を進め、どんな時でも安全・安定的に稼働できる工場を目指し取り組みを進めています。

法令順守

ここ数年、化学物質に関する法規制が、国内および国外で激しく変化してきており、それらに対応することは、化学メーカーとして存続してゆくための必須条件です。製品の法規対応をより確実に実行するために、各部選抜のプロジェクト(製品の含有化学物質管理体制構築PJ会議)で新しい法規対応と化学物質を管理運用するシステムを構築する活動を46期に行っています。

従業員教育

従業員一人ひとりの成長は会社の発展に不可欠であると考えています。若年層からマネジメント層に渡る階層教育の体系的な整備はもちろん、グローバルに活躍し得る人材の育成にも力を注いでまいります。

地域への貢献

従来から行っている河川の清掃や里山保全活動のような、いわゆる地域環境を整備する活動を継続していくことはもちろん、本業である「化学」の力で私たちの生活がより豊かで快適になる製品づくりをとおして社会・地域に貢献していきたいと考えています。

最後に

われわれ、新中村化学工業は、社会の一員として存在価値を高め続けるために、経験知識を積み重ね、独自性の追求を行い、社会価値の創造を目指してまいります。

ありがとうございます。

代表取締役社長
中村 謙介

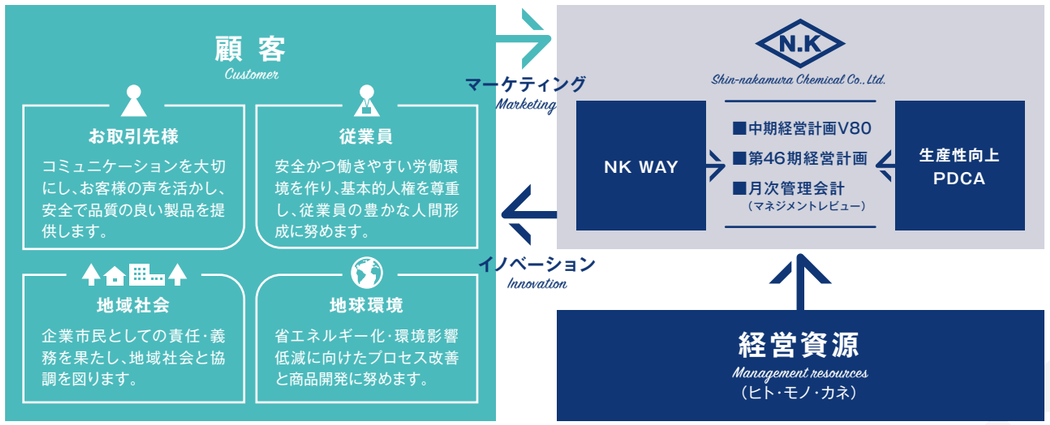
CSR基本方針

1 イノベーション Innovation
事業方針「NKWAY」に基づき、素材イノベーションにより需要を生み出し、グローバルマーケットに貢献します。

2 社会貢献 Contribution to society
健全かつ成長する企業をつくり、地域社会・お取引先様の発展と従業員の幸福に貢献します。

3 法令順守 Compliance
法令を順守し、安全と環境を重視した事業を推進します。

取り組み方



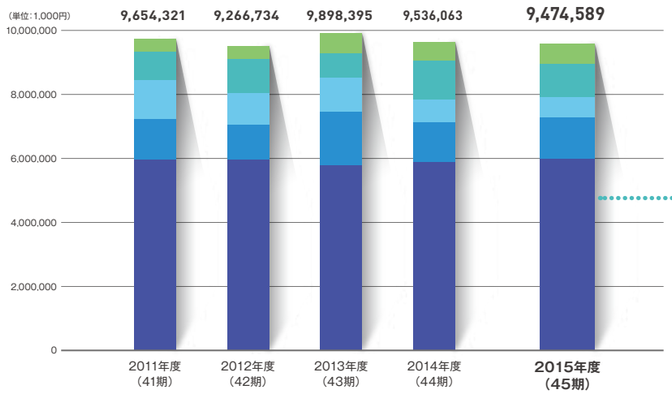
THIS YEAR'S PERFORMANCE

[今年度の業績]

45期の業績を振り返って

2015年度の弊社業績は売上94億7400万円、営業利益10億8600万円で、対前年減収・増益となりました。外的要因に左右されず、安定的に売上を伸ばすためには本質的に活動を変換していく必要があると考えていました。その頃(初夏)に拝聴した和歌山大学/高岡教授の講演の内容に解決策となるヒントがありました。
それは製品を販売して売上を伸ばすという考え方ではなく、顧客に生じる課題や問題を解決していく姿勢へチェンジすることでした。弊社の場合、顧客の課題を解決しようとする姿勢は顧客との協業案件や次世代製品の受託案件につながります。社会的に便益の高い製品はこの次世代製品の開発品に多く見受けられます。顧客の課題を解決し、初めてお役立ちや貢献も成立します。この協業を通じた製品が顧客の次世代製品に採用されていく流れは安定的な業績を生み出す土台になると感じています。
ＣＳＲの根底となるsale から solution への考え方と行動の変換はつまるところ将来の業績に反映するものと確信します。

専務取締役　中村誠作



2015年度(45期)の総売上高
94.7億円(前年比 99%)

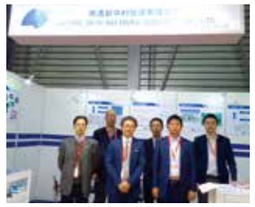
Paint India 出展 2016.01.21~23

ペイントインディアとは、今後大幅な経済成長が見込まれるインドにて2年に1回開催される工業塗料の展示会です。地元インドの企業はもちろん、各国の企業から多数出展がありました。弊社も出展に際し、主力製品のUV硬化樹脂等をご紹介したところ、3日間で100社余りの訪問を受けました。
将来インド市場にて自社製品を広く展開できるよう販売活動を強化していきたいと考えています。

ペイントインディア出展ブース

China Coat 出展 2015.11.18~20

チャイナコートとは、中国2拠点で順に開催されるコーティングショーです。弊社の出展は今回で3回目となり、国際材料UV関連のエリアにて出展をいたしました。弊社ブースには、3日間で中国国内企業、海外企業を含め、約200社の来訪があり、中国企業のUV技術への関心が伺えました。今後、上海・南通を起点とし、中国国内外の販売を強化する中で今回の出展は大変意味のある出展となりました。今後も、海外企業への販路を広げるため、展示会への出展を行い、弊社商品のPRを行ってまいります。


China Coat出展ブース

NK WAY ーめざす道ー

[新中村化学工業 行動指針]

創業の精神 *The spirit of its founding*	感謝の心で魂を高めます
社是 *Mission statement*	誠　実　良心を大切に、人として正しい事を行います 努　力　チャレンジ精神をもって、最善をつくします 協力一致　調和の心で、自発的に考え行動します
経営理念 *Management philosophy*	全従業員の幸福と、 顧客への『お役立ち』を目指します
GOC活動 *GOC Action*	挨　拶　元気な言葉で、『明るい場』をつくります 整理整頓　常に『使いやすさ』を保ち、仕事の効率を高めます 掃　除　何事にも行き届く、『気づきの心』を身につけます

NK WAY体験発表

月に一度実施している全社朝礼の中で、NK WAYの体験談を発表しています。
発表は、 ① NK WAY手帳に記載されているテーマについての感想
② ①に対して上司コメント
③ 自身のNK WAY実践談を発表
④ ③についての上司コメント
といった形で毎回4名が発表します。
社長を目の前に全社員注目の中という緊張感いっぱいの状況なのですが、発表者は比較的堂々と話をしているように感じます。様々な体験談や感想の話があり、新たな発見や勉強になることが度々あります。このような行事を通じてさらにNK WAYを共有し成長していきたいと思っています。

NK WAY 体験発表の様子

決起大会 2015.09.26

新中村化学工業の新年度は決起大会を開催して始まります。今年は午前中に全社朝礼と創立記念行事(物故者黙祷に始まり永年勤続などの表彰を行います)、午後は各部からの方針発表会、決起大会(懇親会)という流れで46期のキックオフを行いました。その年の想いを共有する大切な行事として毎年全社員が参加しています。

本社での決起大会の様子

福井工場での決起大会の様子

新製品の売り上げ比率の向上と、新製品開発時の高性能化と環境への配慮を実施しました。
お客様よりご要望の多いBCPについての取り組みが進み、南通新中村化学有限公司においては、ISO9001の認証を取得しました。

研究開発部 | RESEARCH AND DEVELOPMENT DEPT.

お客様の声に耳を傾け、環境影響が少ない法令を順守した、個々の顧客に対応した新製品の開発を行うことを目標にスタートしました。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
新製品売上比率25%以上 （新製品：過去3年間の開発・改良品）	27.2% （達成率：108.8%）	⬢⬢⬢

評価基準：⬢⬢⬢ 目標達成 / ⬢⬢⬡ 目標ほぼ達成 / ⬢⬡⬡ 目標未達成

実績の詳細

事業分類	新製品売上比率
モノマー関係	28.6%
オリゴマー・配合関係	47.3%
ポリマー関係	15.0%
捺染関係	6.1%
バッキング関係	31.7%
合計	27.2%

研究開発部の45期を振り返って

避けては通れない、高性能化と環境への配慮を両立した商品の開発

執行役員・研究開発部 部長　的場 哲也

モノマー関係では特定顧客のUVインキ用多官能性モノマーの残溶剤を低減した改良品が売上の大半を占めています。
既存製品を含め、今後新しく開発・改良するモノマー製品（NKエステル）のほとんどは環境への配慮から残溶剤を含まない、溶剤レスの製品が必須となっています。
オリゴマー・配合関係は電子材料用途向けレジスト材原料に使用されることが多く、末端顧客の高精細化要求に応えるため、お客様と共に常に新しい製品を開発し続けなければなりません。
ポリマーの溶液重合関係についても電子材料用途向けの開発・改良検討を行ってきました。45期は計画通りに新製品が採用まで至りませんでしたが、46期には立ち上がる新製品もあり期待しています。
ポリマーの乳化重合関係については環境配慮から塗料分野で溶剤系からエマルジョン系への切替テーマをお客様と一緒に進めており、少しずつではありますが水系への移行が進んでいます。バッキング関係とは自動車シートのバックコーティング剤のことです。必須要求性能の一つに難燃性があります。
従来はコーティング剤にハロゲン系の難燃剤を配合して難燃性能をクリアしてきましたが、自動車業界の規制もありノンハロゲンタイプのバッキング剤の開発を進めています。全ての要求を満たす製品は難しいですが、生地の種類や燃焼性に合わせて個別対応することで新商品を立ち上げています。
これからもあらゆる分野で社会の要請に応える製品を開発し続けることが、研究開発部の最大の使命であると考え、「ものづくりの成果」を通して、お客様や地域社会に貢献してまいります。

来期に向けて

お客様と進化した協業活動を通じ、より大きな顧客価値を提供できる新商品の開発を目指す。

従来は既存製品の問題点改良を中心に研究活動を行ってきましたが、来期はお客様との協業活動を通じてより大きな顧客価値を提供できるようにしたいと考えています。協業と言うのは、単にお客様からの委託を受けるのではなく、成長市場をリードする特定有望顧客と弊社の得意技術のシナジーを活かすことによって、より大きな顧客価値を提供できるのではないかと考えています。
新たな技術革新、新しい市場を一社だけで作り出すのは非常に難しい時代になっています。弊社の得意技術と顧客の持っている技術を融合させることで新たな価値を生み出し、社会に貢献できる商品開発を進めてまいります。

For CUSTOMER TOPICS

[お客様への思いやりに関わるトピックス]

南通新中村化学有限公司 ISO9001 取得

2015.01.11

弊社では品質マネジメントシステム向上のため、2015年1月ISO9001を認証取得いたしました。日本品質のものづくりを南通工場で実現するためには、ISO規格に準じた品質マネジメントシステムを構築し継続的な運用をしていく必要があります。
今後、製品の品質だけでなくお客様へのトータルソリューションを実現するため、日々継続的改善を行います。

南通工場ISO9001認証書

南通新中村化学有限公司：営業部

南通新中村化学有限公司では「オンリーワン製品を安定品質で中国・アジア市場に供給する」を事業使命とし2016年度、営業部を設立し中国・アジア市場での営業強化を進め、南通新中村化学有限公司と新捺咖化学貿易(上海)有限公司と協力一致しNK CHINAとして中国顧客＆中国進出日系顧客のニーズをリアルタイムに把握し顧客が求める価値を提供するための営業活動を行います。
2016年度 NK CHINA目標として南通品720t販売、NKオリジナル商品9品移管販売を達成することで南通工場の安定稼働と売上目標4,300万元を達成し経常黒字化を実現するために努力してまいります。

南通新中村化学有限公司外観

南通新中村化学有限公司
営業部 部長　宮本 昌和

外部監査の受入実施

ISO取得後、約20年。お客様からの監査頻度も増え、年を追うごとに内容もより高度になっております。お客様の高度な要望に応えるべく、社内内部監査のレベルUP、社員のISO知識の向上を進めております。

近年の外部監査の受入実績件数

2015年度 … 8件	2012年度 … 9件
2014年度 … 8件	2011年度 … 10件
2013年度 … 6件	2010年度 … 4件

For
ENVIRONMENT
[環境・地域への思いやり]

不動在庫ゼロおよび期末廃棄物の削減、CO_2の削減に取り組みました。また、里山保全活動の継続、購入資材のエコマーク品の優先的購入を実施して環境に貢献していきます。

営業部 | SALES DEPT.

営業部の45期ＣＳＲ目標は、廃棄物の削減を掲げスタートしました。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
不動在庫ゼロおよび期末廃棄物営業起因分を47期ゼロにする	**廃棄品数量 3773kg**(削減率:57%) (前期廃棄数量6514kg)	⬢⬢⬡

評価基準: ⬢⬢⬢ 目標達成 / ⬢⬢⬡ 目標ほぼ達成 / ⬢⬡⬡ 目標未達成

営業部の45期を振り返って

ユーザーとより密接に

営業責任の廃棄物を削減する活動は毎年強化しており、やむを得ず廃棄している製品は毎年減少傾向に向かっております。生産前の営業部員および業務部員の意識が高まり、ユーザーとの密な情報交換による生産活動が功を奏してきたように感じています。
また、生産部・研開部との連携の一環として製販会議も部間の意識向上につながっていると感じております。

来期に向けて

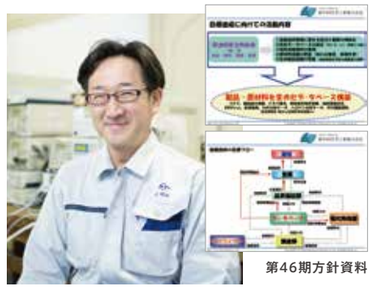
意識の向上

46期は47期廃棄品ゼロに向けて大事な期となります。
ユーザーとより密接なつながりを高め、部員全員の廃棄物をなくす意識向上に努めてまいります。

For
ENVIRONMENT TOPICS
[環境・地域への思いやりに関わるトピックス]

化学物質管理法令情報の顧客提供を円滑化するためにプロジェクトを発足 2015.08.31

近年、国内外の既存化学物質関連法令および環境関連法令の制定と改正によるグリーン調達指向の高まりにより、顧客から製品に含有する規制化学物質に関する情報提供の要望が飛躍的に増加しました。
これらの情報提供サービスに対応するために『製品含有化学物質管理体制構築プロジェクト』を立ち上げ、提供情報の源となる個々の製品に関する詳細情報を集約した永続的に運用可能なデータベースの創設活動を行っています。データベースの策定と随時更新により、正確かつ迅速な情報提供を進めてまいります。



第46期方針資料

品質保証部
課長(知財・法務担当)　山田 浩平

和歌山工場 | WAKAYAMA FACTORY

和歌山工場の45期CSR目標は、『日常生活および工場の本業である生産活動を通じ、CO_2削減のため、省エネルギーを推進し地球温暖化の防止に努めます』を目標としてスタートしました。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
CO_2排出量 122t-CO_2(工場の年間総排出量の約4%)	**218.6t-CO_2**(達成率:94.7%) ※原油換算で約100kl/年	⬢⬢⬡

評価基準: ⬢⬢⬢ 目標達成 / ⬢⬢⬡ 目標ほぼ達成 / ⬢⬡⬡ 目標未達成

和歌山工場の45期を振り返って

日常生活も含めた CO_2 削減活動の推進

具体的な活動としては、ブライン水(−25℃)および冷水(+10℃)用チラー設備の生産計画に則った発停管理と季節変動(気温)を考慮した日常管理による設備の効率運転。
また、臭気対策設備である“触媒燃焼式脱臭設備”の効率運転による燃料(LPガス)の削減など、生産設備による活動を主として進める中、和歌山工場員一人ひとりによる、日常生活を含めた個人による削減活動も同時に実施しました。
個人活動では、公共交通機関などを利用したノーマイカー通勤や、二人以上での乗合せ・マイカー⇒バイク・バイク⇒自転車などの省エネルギー通勤を積極的に取り入れました。
結果として、削減目標『230.8t-CO_2 前年度実績6%削減』削減実績『218.6t-CO_2 達成率94.7%』と目標を達成することができませんでしたが、一人ひとりの地球温暖化防止への意識の向上・共有が感じられた1年間となりました。

来期に向けて

省エネ機器の積極的採用による低炭素な生産活動

46期は従来のソフト面的な削減活動を継続しながら、・ハード面としての高効率モーター・LED 照明など省エネ機器の採用を計画しています。
計画の一つとして、製造工程に用いる冷却水(+5℃～+10℃)を作るチラー(冷凍機)の更新を進めています。チラーを更新することで、従来品と比べCO_2排出量が約20%削減出来ると見込んでいます。
平成28年は設備投資を含めた活動で、更なるCO_2削減に貢献できる生産活動を行っていきます。

和歌山工場長　井 義人

BCM 基本計画書発刊 2015.08.31

阪神淡路震災から21年、東日本大震災から5年。近年、東南海・南海地震の発生が噂される中で弊社としても、万が一大地震が発生した際もお客様に御迷惑を掛けずに復旧・生産再開体制を作るための計画書を発刊しました。発刊後、社内にて初めてとなる「大規模地震発生訓練」を行いました。緊張感の中、半日間の訓練では、今まで見えなかった課題が浮彫となり、訓練実施の重要性を参加者全員が考えさせられた1日となりました。
今後も様々な形式の訓練を繰り返す事により課題を抽出し、全社員が協力して計画書の改善を行い有事の際、迅速な対応が出来る体制づくりに努めてまいります。

ミッションフロー

大規模地震発生訓練の様子

里山保全活動 2015.03.22

管理部のメンバー6名で里山の植樹ボランティアに参加しました。場所は、和歌山市鳴神にある"花山"で、"一年中花が咲き誇る里山にしたい"という思いで活動を行っているボランティア団体「花山うららくらぶ」の考えに賛同し、今回お手伝いさせていただくことになりました。
山中4ヶ所にヤマツツジ、ドウダンツツジ、ヤマアジサイ等計60本を植樹しました。
約1時間程度の作業でしたが、普段は事務作業の管理部メンバー、自分たちのリフレッシュにもつながり、暖かい春の陽射し中での有意義な時間となりました。

里山保全活動の様子

福井工場 | FUKUI FACTORY

福井工場は電力、燃料等のエネルギーを消費し、製品を製造しています。製造業者の最も重要な社会的責任として、省エネルギー、資源の有効利用など、様々な施策を実施し、CO_2の削減に取り組んでいます。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
CO_2排出量 331t-CO_2(工場の年間総排出量の約7%)	320.0t-CO_2(達成率:96.0%) ※原油換算で約146kl/年	●●○

評価基準:●●● 目標達成 / ●●○ 目標ほぼ達成 / ●○○ 目標未達成

福井工場の45期を振り返って

CO_2 削減に向けすべてを見直し、毎日一歩前進

省エネ設備・機器の導入時期が遅れ、今年度の省エネおよびCO_2削減効果が計画より少ない結果となりましたが、来年度は期待できると考えています。

【反応釜蒸気ドレン回収設備】

反応釜から排出されている蒸気ドレンをボイラーの給水タンクへ戻し、ドレンの熱を再利用することでLNGの使用量およびCO_2排出量の大幅な削減が可能となりました。

省エネ機器の導入

(冷凍機設備及びエアコンプレッサーの更新)
更新前の機器と比べ、省エネ効果が最大約35%の機器を導入し電力使用量の削減が実現できています。

来期に向けて

地球環境にやさしい生産工場を目指します。

46期も安全・安定操業の確保に向け、基本に立ち返り安全マニュアルの順守徹底に努めます。

地球環境保全面でも、缶体断熱による放熱ロスの削減および工程改善による省エネや廃棄物の削減を行い、45期CO_2排出量の約3%削減を目標に取り組みます。

福井工場長　楠井 鉄矢

調達部 | PROCUREMENT DEPT.

公正・公平な取引と環境に配慮した原材料の購入を目指してスタートしました。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
グリーン調達率50%を目指します。 (経費関係エコマーク付商品の購入)	調達率5%(達成率:10%)	●○○

評価基準:●●● 目標達成 / ●●○ 目標ほぼ達成 / ●○○ 目標未達成

調達部の45期を振り返って

≪CSR 基本方針≫を受け、【CSR 調達方針】を作成しました。

次の2項目を基本軸として、調達方針を決定しました。

【1. 公正・公平】

サプライヤー様の選定にあたって対等な立場を自覚の上、公正・公平でオープンな取引の機会を提供し、コンプライアンス(法令遵守)に基づいた適正な取引を実現します。

【2. 環境対応】

環境に配慮した原材料の購入や環境負荷に向けた資材開発を行います。社会情勢やお客様の要望等を勘案して原材料の環境面の具体的な評価基準を構築していきます。

上記方針の下、経費関係の購入品をエコマーク※付商品に変更し、グリーン調達率50%を目指すことに目標を設定しました。

そこで「GreenStation」(エコマーク商品総合情報サイト)に登録し、経費関係商品の購入を行うことにしましたが、経費関係の購入件数43期が1,482件、44期が1,368件であまりにも件数が多く、多岐にわたっているため、文房具品にしぼり、対策を取るようにしました。

しかし、そこでさらに問題として、価格の面が発生(例:①フラットファイル【エコマーク付@80円/kg、一般品@63円/kg】②クリヤーホルダー(10枚入)【エコマーク付@972円/kg、一般品@630円/kg)】してきました。

価格の安い一般品(現在購入している)より、価格の高いエコマーク付商品を購入する事は、売上最大経費最少の基本方針から外れるのではないかということで、二の足を踏む状態が数ヶ月続きました。

その後、文房具関係の中で、①フラットファイル②トイレットペーパー③両面テープ④ふせん⑤ルーズリーフ⑥クリアホルダー⑦テッシュペーパー⑧ノートの8品目に絞り、新規で注文する場合は、エコマーク付商品を出来るだけ注文するように、調達部員に声掛けをしている状態です。

※エコマークについて

エコマークは、様々な商品(製品及びサービス)の中で「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境の負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられる環境ラベルです。

このマークを活用して、消費者の皆さんが環境を意識し商品選択を行ったり、関連企業の環境改善努力を進めていくことになり、持続可能な社会の実現をはかっていくことを目的としています。

来期に向けて

安全な原材料の購入(納入仕様書 100%完備)

化学品メーカーとして、社会的責任を全うし、社会に貢献するためには、環境に対して負荷がかからない商品を市場に提供する義務がある。商品が環境に対してやさしいものでなければならない。

さらにその商品に使用されている原材料も環境に対してやさしいものでなければならない。それ故、調達部の義務として最低限納入仕様書の100%完備が必要になってくる、46期は「納入仕様書100%完備」に取り組みます。

調達部 部長　岡野 光信

人体に有害な化学薬品に曝される作業者への影響を削減するための取り組みを実施しました。
また、CSR活動への積極的な参加と、活動をサポートする取り組みを行います。

品質保証部 | QUALITY ASSURANCE DEPT.

CSRとは企業が社会に対して責任を果たし、社会と共に発展してゆくための活動です。
第45期は、最も重要なステークホルダーであるお客様に、今望まれている製品・サービスを提供出来る、最適な業務環境を形成できるように、部員一同で努力しました。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
第45期中に改善案を5件作成、実施し、環境を改善する	10件（達成率：200%）	⬢⬢⬢

評価基準：⬢⬢⬢ 目標達成 / ⬢⬢⬡ 目標ほぼ達成 / ⬢⬡⬡ 目標未達成

品質保証部の45期を振り返って

全員の協力一致が、大きな成果を生んだ

我々は会社の中で、ISO、品質管理、法令順守等の活動の先頭に立って、NKのCSR活動の一端を担っています。
顧客満足を第一に、安全で安心、お客様に貢献できる高品質の製品・サービスを提供できるよう、そして、すべてのプロセスにおいてお客様目線の品質保証が実現できるように、全ての部署と協力して活動しています。
45期のCSR活動は、業務環境の改善を目的として、有機溶剤、悪臭等に曝されるのを防止する方法を検討し、部内での提案案件を実施しました。普段の業務環境を違った目線で観察し、話し合うことで、期待以上の提案が生まれました。そして、みんなの小さな改善を積み重ねることで、大きな成果を上げることが出来ました。社内、社外の訪問者から、改善効果に対して良好な評価を得られたことはうれしい出来事でした。
現在は、快適な業務環境で、部員一同活動しています。

品質保証部 部長　堀内 良雄

来期に向けて

他社に先んじた品質保証であるために

46期は“プレミアムクオリティの創造”をミッションに掲げて、他社に優る製品・サービスをグローバルに提供できる体制の構築を目指しています。
最近は、物性評価はもちろんのこと、製品に関する情報サービスが重要視されてきています。それらは、国際的な法規登録、法順守状況、製品に含まれる化学物質の詳細など、多岐に渡ります。これらの顧客の要望に迅速に応えるために、研究開発部や調達部、管理部などとプロジェクトを組んで、新しいシステムの構築を進めています。
物性評価の分野では、ICP-MSの分析評価への本格的な運用と、従来は採用されていない分析での精密機器の導入も検討しています。

管理部 | CONTROL MANAGEMENT DEPT.

ＣＳＲというと、ボランティア活動や寄付などの慈善事業を行えばよいと考えている人も少なくないと思います。しかし、新中村化学の考えるＣＳＲは「化学事業」という本業をとおして社会全体に良い影響を与えられる企業となるべく活動を行ってまいりました。そんな中、今期の管理部ＣＳＲは”全従業員が企業をとおしてＣＳＲに関わっている実感をもてるか？”という点に重きをおいてスタートしました。

45期のCSR目標に対する具体的なアクションと実績

目標値	実績	評価
ＣＳＲ管理手順書の作成	ＣＳＲ管理手順書の作成	⬢⬢⬢
ＣＳＲ休暇の創設	ＷＬＢ※の実現を目指した休暇制度案の作成	⬢⬡⬡
ＣＳＲ活動を社内外へ発信	１０件：自社内外での活動を知る機会の創出	⬢⬢⬢
CSR講和の開催(7月4日高岡教授)	ＣＳＲの概念をより深く知る教育の実施	⬢⬢⬢
花山里山保全活動への参加	管理部（８名）地元和歌山の自然環境保全	⬢⬢⬢

※ＷＬＢ：ワークライフバランス（個人のライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方の実現を目指す考え方）
評価基準：⬢⬢⬢ 目標達成 / ⬢⬢⬡ 目標ほぼ達成 / ⬢⬡⬡ 目標未達成

管理部の45期を振り返って

NK-CSR 活動が実感できるようになった1年

管理部にとってのＣＳＲ活動は、自部門の目標を達成するだけでなく他部門の活動を促進する役割も担っていると考えています。
そういった意味でも、全社の活動が少しずつではありますが前進していると実感できる年であったと感じます。各部の活動実績は、これまで行ってきた内容とあまり変わらないかもしれませんが、アクションの内容を見てみると、これまでの活動の成果が表れていると感じられます。
管理部の振り返りとしては、当初の目標は概ね達成することができましたが、社員のワークライフバランスを充実させるCSR休暇制度の創設目標は未達成となりました。CSR管理手順書の作成とCSR活動の発信における目標の達成は、新中村化学のCSR活動をより促進していく活動となったと思います。
環境保全という地球規模のテーマに対しても、花山里山保全活動という形で関わらせていただき、地元和歌山の自然環境保全に対し微力ながら貢献できたことに喜びを感じています。

来期に向けて

「各部の目標進捗が促進されるための後方支援」を強化します！

46期は前期の活動と未達成課題を継続して取り組むことで、ますます社員がCSRに取り組める体制と仕組みを打ち出していこうと考えております。
後方支援の一環として、各部の進捗管理のために管理部員が定期的（月1回程度）に確認の会議を開催していきます。
管理部目標としては、従来から行われている「従業員表彰」の一つの賞として、個人・部門などのCSR活動に対する表彰を盛り込み、CSR活動がより促進されることを目指したいと考えています。

執行役員・管理部 部長　片山 尚弘

For EMPLOYEE TOPICS ①
[働く人たちに関わるトピックス]

第51回献血運動推進全国大会「厚生労働大臣表彰受賞」 2015.07.24

弊社では永年にわたり和歌山工場において、年2回の献血活動を行ってまいりました。この度、その活動が認められ厚生労働大臣より表彰状が授与されました。従業員一人ひとりの善意の精神がこのような賞につながったということは言うまでもありませんが、この活動が少しでも世の中のためになっていると考えると、ますます活動の大切さを実感する機会となりました。

For EMPLOYEE TOPICS ②

[働く人たちに関わるトピックス]

和歌山工場、福井工場で防災訓練を実施

■和歌山工場 2015.08.12

和歌山工場では毎年防災訓練を実施しており、本年も8月に実施しました。
一般社員のうち各部署より選抜された者により放水訓練を中心に、新入社員には消火器の取扱訓練を実施しています。また、動力式ポンプの操作には未経験者を選抜して不足の事態に備えています。
日々の備えが重要であると考えておりますので今後も継続実施させていただきます。また、新たな取り組みによる訓練も増やし、今後起こり得るであろう東南海・南海地震による被害を最小限に食い止めるようさらなる努力を積み重ねてまいります。

和歌山工場での防災訓練の様子

■福井工場 2015.11.11

福井工場では、社員の防災意識の向上と管理体制の整備を図ることを目的に、年2回、防災訓練を実施しています。具体的には、危険物製造設備・危険物倉庫・タンクヤードなどの事故発生(火災・漏洩)を想定した通報・放送・消火・救出救助などの訓練を実施しています。さらに、自然災害(地震・津波)を想定し、避難・負傷者の搬送など対応訓練を繰り返し実施し、防災に関する継続定なレベルアップに努めています。

福井工場での防災訓練の様子

45期に成立した特許

今期の特許成立は以下の通りです。

1	発明の名称	アクリレート系共重合体及びそれを含む樹脂組成物ならびにそれをコーティングした受容層付き基板
	出願者	新中村化学工業株式会社、和歌山県
2	発明の名称	含フッ素(メタ)アクリレート化合物
	出願者	新中村化学工業株式会社
3	発明の名称	ポリオキシエチレン付加カリックスアレーン誘導体の製造方法
	出願者	新中村化学工業株式会社、スガイ化学工業株式会社、学校法人神奈川大学
4	発明の名称	定着用組成物、プリント生地の製造方法およびプリント生地
	出願者	新中村化学工業株式会社

和歌山働き方シンポジウムに参加 2015.11.12

長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進、多様な働き方の普及、女性の活躍促進など、これまでの意識や働き方を見直す「働き方改革」が今注目されています。これらの取り組みは、従業員のワークライフバランスに結びつく職場風土の醸成につながるだけでなく、企業の発展にも結び付くものと考えられています。
和歌山の企業を代表して、弊社管理部長の片山がパネリストとして参加し、自社事例を交えながら専門家とのディスカッションを行いました。

シンポジウムの様子

危険物取扱者試験を実施

2015.06 2015.10

危険物取扱者試験については、毎年受験を行っております。今期の結果は以下の通りです。

45期実績
6名受験(甲種)→2名合格

研究開発部では、部員38名中 35名が危険物甲種を取得し、業務を行っております。(保有率92%)化学工場の研究員として様々な原料を扱うため、和歌山工場では危険物甲種取得を必須資格としており、社内教育の一環としても取得の推進を行っています。

For EMPLOYEE TOPICS ③

[働く人たちに関わるトピックス]

ベイマラソンへ参加 2015.11.29

和歌山市開催の日本初ミュージックマラソン大会である和歌浦ベイマラソンwithジャズに参加しました。PRを兼ねて参加者全員おそろいの社名入りTシャツで走ります。美しい和歌山の海沿い景色とジャズの演奏が楽しめるマラソン大会です。

ベイマラソンに参加した社員

紀陽銀行杯3年目にして初の3位入賞！ 2016.01.31

職場の枠を超えて2014年に結成された綱引きチーム「エステル‘S」は、初出場から2年連続の敢闘賞・そして3年目の今年は3位入賞と毎年目標をクリアして成長を続けています。綱引きは、簡単なようで本当に奥深く、綱一本を介して様々な駆引きが行われます。
社是の「協力一致」の精神でこれからも頑張って綱を引いていこうと思います。

綱引き大会の様子

2014年ベスト8(敢闘賞)
2015年ベスト4(敢闘賞)
2016年3位入賞

メンタルヘルスの無料相談窓口の設置 2015.08

従業員の悩みを外部の専門家に無料で対応できる窓口を設置し、少しでも早期に問題の解決ができるよう対応する仕組みを導入しました。この窓口は、従業員と同居の家族が、電話やメール等で気軽に相談やカウンセリングを無料で受けることのできるサービスで、必要があれば直接専門医を紹介するなどの対応も行っていただけるようになっています。従業員が安心して働ける環境の整備が、企業の安定と競争力強化につながることは間違いありません。
これからも従業員が健康で安心して働ける会社を目指し、取り組みを進めてまいりたいと思います。

和歌山県人権尊重の社会づくり協定計画書 2015.10.07

グローバル化や生産人口の減少等に伴い、企業にもダイバーシティ(多様性)の推進が求められています。弊社でも多様な人材の活躍を推進する中で、性別・年齢・国籍などの違う人々が一つの組織で働いていくために、いろいろな違いを認め合い、お互いを個人として尊重し、共生していける風土を築いていくことを目的とし『和歌山県人権尊重の社会づくり協定』を締結しました。

和歌山県人権尊重の社会づくり協定

和歌山県人権尊重の社会づくり協定計画書

従業員表彰

永年勤続賞

40年(2名)	30年(9名)	20年(6名)	10年(9名)
●上野 邦生	●的場 哲也	●楠部 泰生	●山口 恵子
●山本 信二	●石濱 靖	●寺口 久弥	●伊藤 真弓
	●佐藤 裕之	●林 文博	●中井 孝仁
	●太良 哲也	●井上 晃宏	●藪井 佑輔
	●山本 幸義	●清水 寿哉	●堀之内 裕
	●池田 勲	●籔 さゆり	●成本 和弘
	●木下 泰宏		●山林 浩
	●吉田慎一郎		●小谷 竜也
	●月葉 総彦		●荻原 靖

QC活動表彰

福井工場2課 発表の様子

社長賞
●福井工場 2課

優秀賞
●福井工場 品質保証課
●和歌山工場 2課
●研究開発部 高機能材3グループ

敢闘賞
●和歌山工場 1課
●研究開発部 高機能材2グループ
●和歌山工場 4課

従業員表彰

開発貢献賞 ●田尾 康之(研究開発部)

努力賞
●西村 啓佑(営業部)
●阪口 太也(研究開発部)
●中井 孝仁(研究開発部)
●相良 尚弥(研究開発部)
●栗山 龍治(研究開発部)
●橋詰 敬太(福井工場)
●角 直樹 (福井工場)
●前川 晴香(福井工場)
●御前 貴生(品質保証部)
●陳 峰(南通新中村化学)

新人賞
●新宮 輝(営業部)
●中道 亮介(研究開発部)
●辻本 紅乃香(福井工場)

GOC賞 ●和歌山工場 5課

Comiba賞プロフィット部門
●和歌山工場 3課

NKグループ貢献賞
●三好 和彦(福井工場)

46TH STAGE CSR GOALS

[第46期CSR目標]

会社目標　本業を通して社会貢献につながる活動の促進

営業部

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
廃棄物の削減	営業起因分　ゼロ	廃棄物を削減し、環境保全に貢献する。	46期 期首営業起因分の解析 QUARTER毎に数値を部会にて把握する。

研究開発部

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
省エネ・省力化に つながる製品の開発	開発テーマ基幹表(研究関与) テーマの完成・上市 販売目標：5.5億円の達成	主力用途のＵＶ硬化材料（モノマー・オリゴマー・ポリマー）を中心に商品開発を推進して販売につなげることにより、採用された末端商品が社会の省エネ・省力化に貢献できる。 また、開発商品の上市を続けることにより、弊社の繁栄につながり経営を安定化できる。	●各グループで開発テーマのランク分けを行い、Ｓ・Ａテーマを中心にコミットメント化して、毎週進捗管理を行う。 ●1回／月 拠点長と開発戦略会議を行い、内容の共有化と方向性の決定を行う。

和歌山工場

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
CO_2削減	45期CO_2排出量・・・の3%削減	温室効果ガス(CO_2)の削減を通して、 環境保全により社会に貢献する。	●消灯による電力削減 ●設備の効率運転によるエネルギー(電気・LPG)削減 ●設備洗浄時間短縮による重油(蒸気使用量)削減 ●廃棄物の収集運搬回数削減による燃料削減 ●公共交通機関利用等の日常生活の見直し

福井工場

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
CO_2削減	45期CO_2排出量・・・の3%削減	環境活動.・地球温暖化抑制策として工場の生産性の向上、エネルギーコストの削減、産業廃棄物の削減、CO_2排出量の削減に取り組みます。	①生産性の向上 ②放熱ロスの削減 ③産業廃棄物の削減 以上の活動を各課で具体的に展開する。

調達部

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
納入仕様書の完備 (グリーン調達の調査)	全購入原料　100%	化学品メーカーとして社会的責任を全うし、社会に貢献するためには、環境に対して負荷のかからない商品を市場に提供する義務がある。 商品が環境に対して優しいものであれば当然それに使用する原材料も環境に優しく、それを扱う人に対しても優しいものでなければならない、それ故、調達部の義務として、最低納入仕様書の100%完備が必要になってくる。	45期 購入原料804アイテムの「納入仕様書」の保有率を調査し、100%完備を目指す。

品質保証部

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
法規登録、含有化学物質 管理システム作成	今期中運用開始	化学品製造メーカーとして、製品が各国の法規に即したものであること、有害な成分を含んでないことを証明することは、企業としてあるべき姿です。	研究開発部、調達部、営業部（不定期）と共に、月1回の定例会議を開催し、計画的に運用して、システムを構築する。

管理部

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
各部目標進捗が促進 されるための後方支援	①品質・環境マニュアルの改訂完了／内部監査員のレベルアップ研修受講(品質3名、環境3名) ②ＣＳＲ賞の新設 ③アニバーサリー・リフレッシュ・ボランティア等に対する特休処理規定策定 ④1回／年 ⑤1回／年	従業員のCSRに対する行動が促進するための情報発信と新しい活動の創造。	①ISO 2015年度版対応／内部監査のレベルアップ ②CSRにつながる顕著な貢献を行った者への表彰 ③ＣＳＲ休暇規定として発表 ④ＣＳＲ講話の開催 ⑤花山の里山保全活動

南通工場

目標	目標値	目標とCSRの結びつき	目標に向けての具体的アクション
NK CHINA事業 継続の基盤を作る	経常黒字(事業継続可能な状態にする) 中国法規の遵守	①企業として適正な利益を出し納税を行うというのは、基本的な社会的責任である。 ②最近中国で事故が多発している状況の中、中国に進出している外資系企業として中国法規を順守し、安全に工場を運営する事は社会的責任と強い結びつきがある。	①上海・南通法人との統合 ②安全生産体制の構築

THIRD PARTY OPINION

[第三者意見]

新中村化学工業株式会社「CSR Report 2016」に寄せて

明確なトップの方針のもと、社員全員が具体的な目標を掲げ活動に取り組む様子が伺える報告書です。

本業である製品・サービスと言う社会への付加価値の提供、国内・国外における事業活動の展開による地域への貢献そのものが、幅広いステークホルダーを巻き込んだ社会貢献そのものであるという考え方が、ＣＳＲ活動を「せねばならない」活動でなく、社員一人ひとりが自分自身の仕事がより良い社会づくりへ貢献しているという誇りを持って働ける職場づくりにつながり、それこそが持続的かつステークホルダーと共に継続的に価値を生み出し続けるCSV（Creating Creating Shared Value＝共通価値の創造）の考え方に発展していくと思います。様々な社会問題が顕在化し、これからの世代のために早急な解決が迫られる現代において、社会問題解決に貢献できる機会を持てることは働く意欲の大幅な向上につながります。この意欲が、「NK WAY」にもとづくイノベーションを生み出し、その結果が社会問題解決につながるという意識が、社会に対して正しくあるべきと考える社会貢献と法令順守につながる、CSR基本方針に沿ったこの良い循環を今後も回し続けることが、新中村化学工業株式会社におけるCSR活動のPDCAであると考えます。

地域環境や従業員の安全へ与える影響を踏まえたゼロ災害・安全操業への取組みに加え、素材を扱う化学産業であるがゆえの災害などによる供給停止がいかに大きな影響を招くかの認識をふまえたBCP（事業継続計画）への取組みは特筆すべきものと思います。

南海・東南海地震は現実の脅威であり、発生時における地域・従業員の安全確保と共に、迅速な復旧活動の実施が必要となります。これらの備えは、5年前の東日本大震災の経験を共有する社会においては、社会的使命であると同時に本業におけるステークホルダーからの安心感・信頼の醸成、ひいては企業価値向上につながるものとなるでしょう。和歌山県内でもいち早くBCPに取り組まれたことは、社会的責任を果たすことへの高い意識の表れであると評価いたします。

これまでの活動の成果として、CSRの基本方針及び活動の枠組みが定まり、現場を巻き込んだ意識の高まりを感じます。CSR活動はステークホルダーとの有効なコミュニケーションのツールでもあります。今後はさらに社員、お客様、地域、様々なステークホルダーと思いを共有し、共に社会問題を解決するための道しるべとして、具体的な目標値に対する達成度合いの提示はもちろん前提ではありますが、形式にとらわれることなく共感を呼び起こし仲間を増やすための情報発信手段として、明るく正しく社会に貢献する新中村化学工業を広く社会に知らしめるものとして発展することに期待しています。

一般財団法人 危機管理教育＆演習センター　理事
NPO法人 事業継続推進機構　副理事長
伊藤　毅

VOICE [お取引先さまの声]

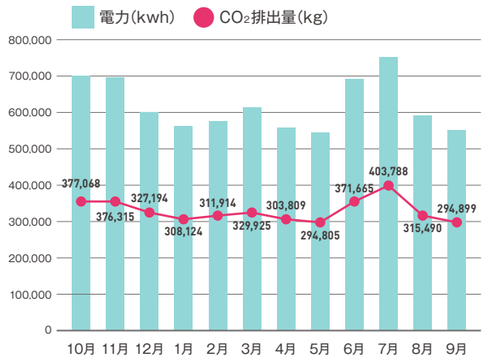
貴社は毎年CSR報告書を真摯に作成され広く開示されています。このような取り組みをされている企業は上場企業以外では県下はもちろんのこと国内でも少なく、企業経営に対する志の高さを示すものと認識しております。
貴社ではCSRの基本方針を、①イノベーション、②社会貢献、③法令順守と定義されています。2015年のCSR活動は、これら３つの基本方針への取り組みが例年にも増して上手く機能することで、良い結果を出されたのではないでしょうか。事業活動を通じた社会課題の解決を目指すオフェンシブなCSRと、事業活動の持続可能性を確固たるものにするディフェンシブなCSRが、毎年確実にレベルアップされており敬服しているところです。
化学産業は和歌山経済を支える基盤産業であり、その中でも貴社は地域中核企業としてこれからもますます発展されることと存じます。当金庫も貴社の成長をしっかりと応援させていただき、貴社と共に和歌山経済の発展のために尽力する所存です。

株式会社 商工組合中央金庫
和歌山支店 支店長　寺浦浩之

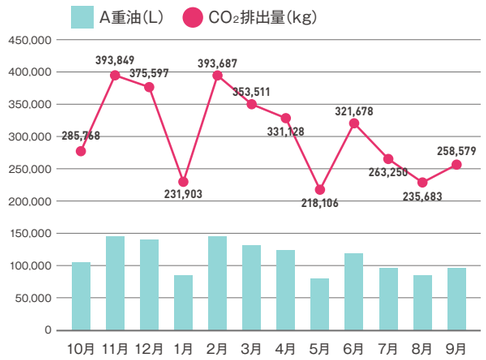
DATA

[データ集]

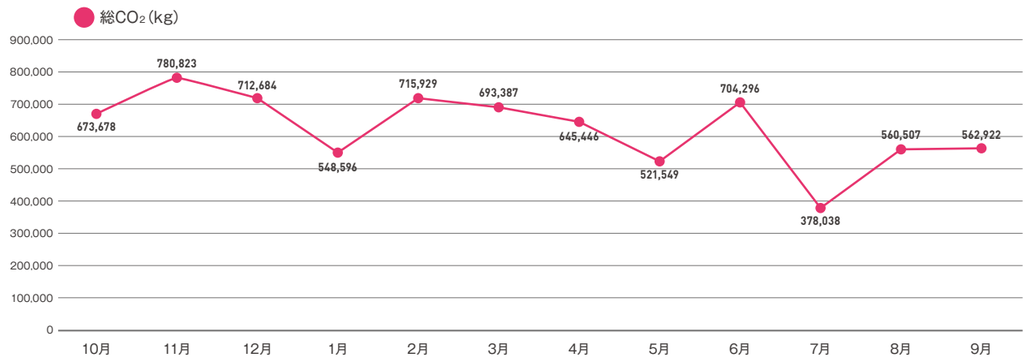
電力使用量（2014年10月~2015年9月）



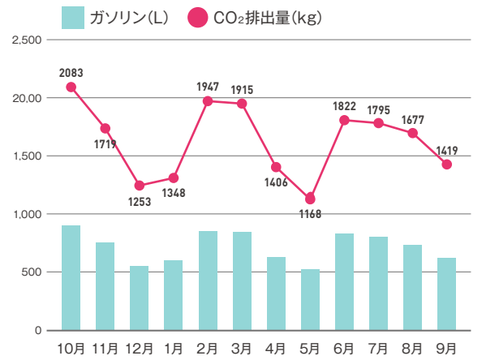
A重油使用量（2014年10月~2015年9月）



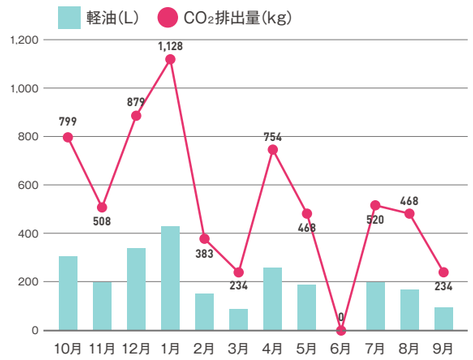
総CO_2排出量（2014年10月~2015年9月）



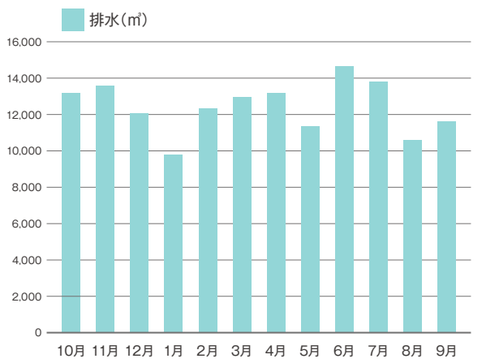
ガソリン使用量（2014年10月~2015年9月）



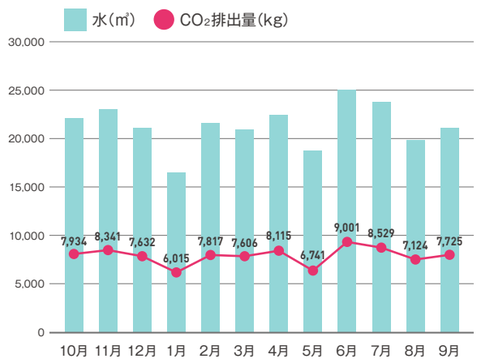
軽油使用量（2014年10月~2015年9月）



排水量（2014年10月~2015年9月）



水使用量（2014年10月~2015年9月）



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
電力(kwh)	696,076	692,274	604,083	568,888	575,859	609,064	561,374	544,346	687,446	747,382	586,078	544,866	**7,417,736**
CO_2排出量(kg)	377,068	376,315	327,194	308,124	311,914	329,925	303,809	294,805	371,665	403,788	315,490	294,899	**4,014,996**
A重油(L)	105,840	145,870	139,110	85,890	145,810	130,930	122,640	80,780	119,140	97,500	87,290	95,770	**1,356,570**
CO_2排出量(kg)	285,768	393,849	375,597	231,903	393,687	353,511	331,128	218,106	321,678	263,250	235,683	258,579	**3,662,739**
ガソリン(L)	906	747	545	586	847	833	611	508	792	781	729	617	**8,501**
CO_2排出量(kg)	2,083	1,719	1,253	1,348	1947	1,915	1,406	1,168	1,822	1,795	1,677	1,419	**19,552**
軽油(L)	307	195	338	434	147	90	290	180	0	200	180	90	**2,451**
CO_2排出量(kg)	799	508	879	1,128	383	234	754	468	0	520	468	234	**6,375**
LPG(kg)	3,140	3,046	2,116	2,328	3,704	3,106	3,516	2,440	3,530	2,738	2,542	2,744	**34,950**
CO_2排出量(kg)	26	91	130	78	182	195	234	260	130	156	65	65	**1,612**
水(㎥)	22,038	23,169	21,199.5	16,708.5	21,712.5	21128.5	22,542	18,725.5	25,004	23,691	19,790	21,458.5	**257,167**
CO_2排出量(kg)	7,934	8,341	7632	6,015	7,817	7,606	8,115	6,741	9,001	8,529	7,124	7725	**92,580**
排水(㎥)	1,3142	13,579	12,121	9,806	12,305	13,135	13,250	11,520	14,575	13,905	10,692	11,686	**149,716**
総CO_2排出量(kg)	673,678	780,823	712,684	548,596	715,929	693,387	645446	521,549	704,296	378,038	560,507	562,922	**7,497,855**

COMPANY PROFILE [会社概要]

企　業　名　新中村化学工業株式会社
代　表　者　代表取締役社長 中村謙介
本社所在地　〒640-8390　和歌山市有本687
TEL.073-423-3256／FAX.073-432-8571
事　業　所　和歌山工場／福井工場／東京支店／大阪支店／名古屋支店／
新捺咖化学貿易(上海)有限公司／南通新中村化学有限公司
設　　立　1938年
資　本　金　1億円
従業員数　187人(2016年3月現在)
平均年齢　40歳
事業内容　感光性樹脂材料、顔料捺染用、繊維加工用、建築用、
各種合成樹脂、アクリル系エマルジョン等の製造販売